

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成25年4月4日 (2013.4.4)

【公表番号】特表2012-524213(P2012-524213A)

【公表日】平成24年10月11日 (2012.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2012-041

【出願番号】特願2012-507318(P2012-507318)

【国際特許分類】

F 0 2 M 25/07 (2006.01)

F 0 2 M 29/06 (2006.01)

【F I】

F 0 2 M 25/07 5 8 0 B

F 0 2 M 29/06 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月12日 (2013.2.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

E G R システムであって、
 吸気導管と、
 E G R 導管とを有し、
 前記 E G R 導管は、前記吸気導管と流体連通状態にあり、
 前記 E G R 導管は、スワール又はターンプル流を生じさせる、E G R システム。

【請求項 2】

前記 E G R 導管は、複数本の平行な管を有し、前記平行な管の少なくとも 1 本は、スワール又はターンプル流を生じさせる、
 請求項 1 記載の E G R システム。

【請求項 3】

前記 E G R 導管は、1 インチ (2 . 5 4 c m) 当たり約 3 0 ° から 1 インチ当たり約 4 5 ° までにあるねじれを有する、
 請求項 1 記載の E G R システム。

【請求項 4】

前記 E G R 導管は、前記吸気導管の中心線に対して約 4 5 ° から約 9 0 ° までの範囲にある入射角を有する、
 請求項 1 記載の E G R システム。

【請求項 5】

前記 E G R システムは、前記吸気導管の中心線に対して第 1 の入射角を呈する第 1 の管及び前記吸気導管の中心線に対して第 2 の入射角を呈する第 2 の管を有する、
 請求項 2 記載の E G R システム。

【請求項 6】

前記第 1 の入射角は、前記第 2 の入射角とは異なる、
 請求項 5 記載の E G R システム。

【請求項 7】

前記第 1 の入射角は、前記第 2 の入射角と実質的に同一である、

請求項 5 記載の E G R システム。

【請求項 8】

前記第 1 の入射角又は前記第 2 の入射角は、約 45° から約 90° までの範囲にある、請求項 5 記載の E G R システム。

【請求項 9】

前記 E G R システムは、複数種類の流体を運ぶ、請求項 1 記載の E G R システム。